



## 衣替えの歴史



木々の緑も日に日に色濃くなり、季節は春から夏へと変わりつつあります。もうすぐ衣替えですね。学生達の制服も夏に向けてさわやかな色へと変わります。

さて、衣替えの習慣はいつから始まったのでしょうか？今回は「衣替えの歴史」を紹介いたします。



衣替えはもともと中国の風習でした。日本に伝わってきたのは平安時代で、はじめは宮中行事として行われていました。中国にならい、旧暦の4月1日と10月1日に夏服と冬服を着替えると定めて、「更衣(こい)



い」と呼ばれましたが、天皇の着替えを受け持つ女官の職名も更衣と言ったので、民間では「衣替え」と言うようになりました。

江戸時代になると、着物の種類が増え、年4回の衣替えを制度化しました。初めは武士の行事として行っていましたが徐々に一般の人々にも広がりました。

この年4回の制度とは、

旧暦4月1日～袴(あわせ)…裏地付の着物。5月5日～帷子(かたびら)…裏地のない着物や麻製の着物。9月1日～袴(あわせ)。9月9日～綿入り。

と、いう具合です。



明治時代は和装から洋装へと変わっていった時代です。政府は洋服を、役人、軍人、警察官の制服に定めて、夏服と冬服の衣替えの時期を制定しました。そして、明治6年1月1日に新暦である太陽暦が採用されると、6月1日～9月30日が夏服で、10月1日～翌年5月31日までが冬服と決めました。これにより、官公庁、企業、学校が毎年6月1日と10月1日に衣替えを行うになり、それが一般の人々にも次第に定着していき、現在に至っています。衣替えの習慣は意外にも古くからあったのです。



## ～ セカサポ相談事例 ～

以前に、(株)水本で住宅建築をしたお客様からのご相談・・・

実家に住む母親のために、住宅の排水関係を水洗化にしたいとのご依頼がありました。

現地調査をしたところ、トイレには段差がありました。また、手すりも必要だということで、介護保険を利用して段差の解消と手すりの取り付けも一緒に工事させていただきました。



同じお悩みのある方は、お気軽にお問い合わせください。

セカンドライフ担当：高橋

水本グループ

介護支援サービススタッフが  
各施設を紹介します!!



<その2>

## ケナフ介護支援サービスセンター

若葉の緑がすがすがしく感じられる季節となりました。今年のお花見は天候に恵まれ、例年より早い満開となりましたが、皆様は満開の桜を楽しまれたでしょうか。どちらかといえば「花より団子」の私ですが、あらためて満開の桜を見た時は花の美しさに感動しました。



今月の『せかせぼ通信』は、先月に引き続き水本グループの介護部門「ケナフ介護支援サービスセンター」のご紹介をさせていただきます。

「ケナフ介護支援サービスセンター」は女性2名男性2名の計4名のケアマネージャーが在籍しております。ケアマネージャーは女性が多いのが一般的ですが、男女半々で構成されているのがこの事業所の特徴となっております。

介護認定を受けられた方のケアプラン作成やサービス調整、また入退院時には病院との連携を行い、皆様が安心して生活することができるお手伝いをさせて頂いております。介護サービスのご利用等を考えていらっしゃる方は、ぜひお気軽にご相談ください。



スタッフのプロフィールを紹介させていただきます。

①出身地 ②ケアマネージャー歴 ③ケアマネージャーになる前の職歴 ④趣味

管理者：廣田

①矢巾町 ②7年目 ③デイサービス介護職員  
④いろいろなお店巡り

村上

①葛巻町 ②11年目 ③デイサービス相談員兼  
介護職員 ④スポーツ観戦

坂下

①岩泉町 ②6年目 ③デイサービス相談員兼  
介護職員 ④ネットサーフィン

菅原

①矢巾町 ②2年目 ③訪問介護員 ④温泉巡り



<編集後記>

### 前向き！

我が家の受験生もやっと落ち着き、それぞれ、大学と高校の新生活がスタートしました。

春は、進学、就職、転勤の時期で、新しい出会いにワクワクしますが、なかには慣れない生活に不安を感じる人もいるのではないのでしょうか。

我が家の子供たちを見ていると、まさに両極端。大学生は全てが楽しそう!! 一日の出来事をよく話してくれます。一方、高校生は仲の良かった友達とも離れ、応援歌練習や部活のギャップに圧倒され、少々お疲れ気味。大人になってから「あの頃、なんであんなことで悩んでいたのだろう」と振り返る時が必ず来ると思うのですが・・・

かわいそうですが、これも成長の過程、親はじっと我慢です。

良い意味で、「まっ、なんとかなるさ」と、前向きな気持ちで乗り切って欲しいと願うのでした。



株式会社 水本 セカンドライフサポート係  
〒028-3615 岩手県紫波郡矢巾町南矢幅 6-606

お気軽にお電話ください。

TEL.019-697-1500